

後期基本計画策定の歩み

後期基本計画の策定に当たって、市民アンケートや合併検証、パブリックコメントを実施しました。また、地域住民や各種団体役員などで組織する市総合計画審議会での審議やワークショップ「TNGR」、市政懇談会の開催などさまざまな経過をたどり策定しました。

市総合計画審議会



市が進める計画の策定や推進の調査や審議を行いました

ワークショップ「TNGR」



若い世代や協働の新たな担い手で、まちづくりの課題解決策を話し合いました

市政懇談会



後期基本計画をテーマに市内5会場で開催し、皆さんから意見をいただきました

《市総合計画基本構想》

2つの戦略プロジェクトと6つの目標（施策の大綱）

戦略プロジェクト

誇りと幸せを実感できるまちづくり
～人口プロジェクト～



世界へ発信するまちづくり
～ILCプロジェクト～



6つの目標（施策の大綱）

みんなで創る生きがいあふれるまちづくり



未来を拓く人を育てる学びのまちづくり



健康で安心して暮らせるまちづくり



豊かさの魅力のあるまちづくり



環境にやさしい安全・安心なまちづくり



快適な暮らしを支えるまちづくり



INTERVIEW 市総合計画審議会 会長

遠藤 清逸 さん = 水沢朝日町 =

後期基本計画の策定に携わりましたが、市の『骨子』となる計画はこんなにも緻密につくられているのかと驚きました。部門ごとに開催した4つの分科会では、委員それぞれが活発な意見交換を行い、それを計画に反映させています。改めて市民と行政が協力することの大切さを実感しました。今後のまちづくりに期待しています。

10年間の総合的指針に基づいた、今後の5年間

第2次 奥州市 総合計画 後期基本計画 策定

次代にふさわしいまちづくりを進めることは、市に課せられた最大の使命です。平成29年度から「第2次奥州市総合計画前期基本計画」を基に、現在まで市民や各種団体の皆さんと協力してまちづくりに取り組んできました。そして今、約1年間の協議を経て、令和4年度から8年度の5年間の新しいまちづくりの指針となる「総合計画後期基本計画（以下、後期基本計画）」を策定しました。この計画は、市民の皆さんからいただいた意見を反映させたほか、市議会でも審議されて完成したものです。市では、これからも市民や各種団体の皆さんと一緒にまちづくりに取り組みます。

■問い合わせ 本庁政策企画課企画推進係（☎ 34-2125）

後期基本計画は、市ホームページから内容を確認できます。市ホームページ▲



計画策定の背景と目的

人口減少や医療などの課題の顕在化、SDGsの普及、そして新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり、市を取り巻く環境はここ数年で大きく変化しています。効果的なまちづくりを進めるためには、市民や各種団体の皆さんと共に、急激な時代の変化に的確に対応することがより一層求められます。このような状況の中で、めざすべき都市像である「地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち 奥州市」を実現させるため、そして変わりゆく社会に柔軟に対応するため、後期基本計画を策定しました。

計画の位置付けと構成

基本計画は、10年間の長期ビジョンである基本構想の下に位置する5年間の中期的な行政運営の指針です。今回策定した後期基本計画では、基本構想の施策の大綱の下に22の基本施策と70の施策を行政分野別に構成した「部門別計画」を定めています。

第2次奥州市総合計画

平成29年度（2017年度）～8年度（2026年度）
うち、今回策定した後期基本計画は4年度～8年度

- 総合的なまちづくりの指針となる計画
- 市民や各種団体との連携のもと、時代の変化に的確に対応し、効果的なまちづくりを進めるもの



昨年11月、市総合計画審議会が「第2次奥州市総合計画後期基本計画（案）」を小沢昌記市長に答申しました

めざすべき都市像

地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち 奥州市

2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 2025年度 2026年度
（平成29年度）（平成30年度）（令和元年度）（令和2年度）（令和3年度）（令和4年度）（令和5年度）（令和6年度）（令和7年度）（令和8年度）

基本構想

前期基本計画

後期基本計画